

# やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞



vol.198  
2023.1

新年のごあいさつ

**「2023年度は努力が実を結び成長し飛躍する年に」** . . . 1ページ

やまと石材・スタッフ

**2023年・今年目標!!** . . . 2ページ

ランドワークグループ交流研修

**秋田の一番店 秋田石材様との交流会!** . . . 3ページ

お墓ディレクター試験

**雪辱戦に行って参りました!!** . . . 4ページ

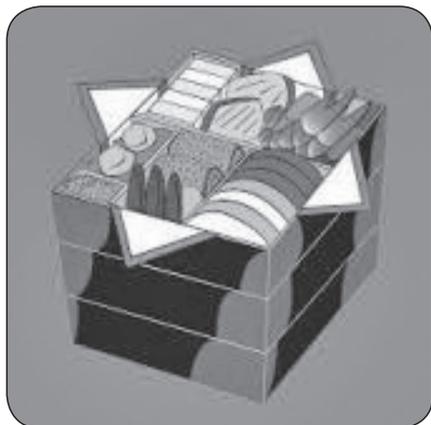
さりげない思いやり

**心がポツとあたたかくなりました** . . . 5ページ

2022年

**ご縁をいただいたお客様のお墓をご紹介します!** . . . 6ページ

**良きご縁をありがとうございます** . . . 7ページ



## 「おせち料理」は節目の料理



おせち料理は漢字で書くと「御節料理」。恥ずかしながら初めて知りました(泣)。

日本の暦には様々な節日(節句)がありますが、その中でも最も重要なのがお正月と言われており、この日に作られる正月料理を指すようになったそうです。

伊達巻に紅白かまぼこ . . . などなど、目にも鮮やかに広がります。様々な思いで迎えらるお正月ですが、この日を節目として良いスタートを切りたいものです。

新年のごあいさつ

# 2023年度は努力が実を 結び成長し飛躍する年に



取締役社長 川原田 寿樹

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年に引き続きコロナ禍

の中での年越しとなりました。オミクロン株や変異ウイルスの出現で新たな不安要素も見られ、年末年始も不自由を余儀なくされたと思います。すっかり霧が晴れたわけではありませんが、今年はずっと歩むべき道が見えてきたのではないのでしょうか。この道が一步ずつ前に進める一年となり、皆さまにとっても、公私ともに、まばゆいばかりの光あふれる一年につながってくれればと心から願っています。

さて2023年度の干支は癸卯（みずのと）です。

「癸」は雨や露、霧など、静かで温かい大地を潤す恵みの水を表しています。十干の最後にあたる癸は、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味しています。

「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味があります。また、うさぎのように跳ね上がるという意味があり、卯年は何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われています。

このように「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍できる年だそうです。

新たな時代へと向かう変化の流れが、ここからさらに加速していくようです。今までの価値観をブラッシュアップして、変化の波を楽しむぐらいの気持ちで過ごしたいものですね。

今年は創業して35年目を迎えます。「生涯お客様サポート宣言！」というスローガンを掲げ、お客様から必要とされる企業を目指し、さらに成長し飛躍できるよう精進してまいります。

皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



# やまと石材・スタッフ 2023年・今年のご目標!!



三浦 淳：多様化する供養の形、お客様が真に求めることは何なのか、しっかりと考えながら対応してゆきます。

宮崎 陽：多様化するお客様のニーズやところに寄り添うご提案を目指します。

平田 響子：一念発起。今年は個人的にも節目の年なので、気持ちを新たに何事にも前向きに自分らしく取り組んでいきます。

山内 一磨：お客様それぞれのご供養を、お墓を通して、やまと石材で良かった！と言われるように頑張ります！

西村 葉子：お客様ファーストの精神で日々過ごしてまいります。

佐藤江里子：今年は卯年！さらなる飛躍と、景気の回復を願って精進いたします。



佐々木隆夫：「卯年」にちなんで、高くジャンプできる飛躍の一年にします。

寺澤 綾子：「チャレンジ精神」を忘れず、最後まで全力で取り組んでいきます。

相内 翔太：何事にも積極的に取り組み、新しいことにどんどんチャレンジしていきます。

伊藤 杏美：一人一人のお客様と真摯に向き合い、満足いただける提案を目指します！



半沢 良典：「不易流行」やまと石材がこれからも変わらず存続するために、変わり続けます。

櫻庭 寿子：自分の役割を全うするための課題を認識し、乗り越える努力をします。

安藤ちひろ：今年は憧れの丁寧な暮らしをしてみたいのに併せ、丁寧な仕事も出来るように頑張ります。

坂井由美子：今年はBIGイベントがある予感。日々体力をつけて挑みます。



津志田 純：昨年に引き続きコロナに注意し、毎日の体調管理を忘れずに仕事もプライベートも充実した年にします。

山本 馨：昨年の反省を活かし、今年は余裕を持った段取りで進んでいける年にします。

堤 智一：できることを増やし、今まで以上により良いものをより早くお客様へお届けできるようにしたいです。



大澤 隆則：今年は昨年を振り返り「出来なかったこと」「やりたかったこと」を達成したいと思います。

笹森 久男：健康に気を付けて、事故けがないように丁寧な作業をしていきます。

木村 直人：体調管理に気を付けて今年は肉体改造していきたいと思います。

高坂 和真：一人前になる！昨年より更なるスキルのレベルアップ!!

ランドワークグループ交流研修

# 秋田の一番店

# 秋田石材様との交流会!



青森店 平田 響子

こんにちは。青森店営業部の平田です。

先日、全国の墓石店が集うランドワークグループの交流研修が行われました。私たちやまと石材もその一員となっておりますが、秋田県の「秋田石材」様もこのグループの仲間です。今回はそのグループ間交流についてお話いたします。

秋田石材様（計4名）には、わざわざ青森までお越しいただきました。

目的は、初中堅社員をメインにグループ各社の店舗視察と同世代同志の相互交流を行うことで、更なる視野の拡大とグループの一体感、及び個人間の繋がりを醸成するためです。

まずは展示場を見学して頂き、意見・情報交換という流れで進んでいきました。特に意見交換の場では、様々な情報を共有することができました。

青森県と秋田県は隣同士で近い県ですが、土地が違えばお墓の特徴も違ってきます。秋田県では黒御影石が多く選ばれるらしく、青森県とはまた違った特色がありました。また普段聞くことが出来ない、リアルな声を聞くことが出来、今後の活動に活かしていきたいと強く思いました。

ひとつ心残りとしましては、タイトなスケジュールだったためあっという間に終わってしまったことです。また機会がありましたら、今度はゆっくりと・・・



青森店の室内展示場を見学です。細部にわたるお墓のつくりや、デザインなどに興味を持っておられました。



ミーティングでは各々の地域が持つ特徴や悩み事などを共有し、次に活かせるディスカッションが行われました。

## お墓ディレクター試験

雪辱戦に  
行って参りました!!

青森店 宮崎 陽

こんにちは。青森店営業部の宮崎です。

先日お墓ディレクター1級の試験に行って参りました。お墓ディレクターとは・・・(社)日本石材産業協会が主催する検定試験です。日本のお墓文化の発展、お墓の正しい理解と普及を図るために、幅広い知識と教養を備えた者に与えられる資格です。

お墓の事でお悩みのお客様に対して、適切でより良いご提案が出来るよう日々勉強しておりますが、試験日が近い事もあってラストスパート!!

実は昨年も取得するべく受験をしたのですが、残念ながら“不合格”でした。今年はその雪辱を晴らすべく、知識も体重も増強致しました(笑)

新幹線の中でも予習を行い、ドキドキしながらも会場へ無事到着。さあここからは、己との戦いです。1年の成果を2時間の試験にぶつけます。・・・悪戦苦闘しながらも、何とか解答し無事終了。

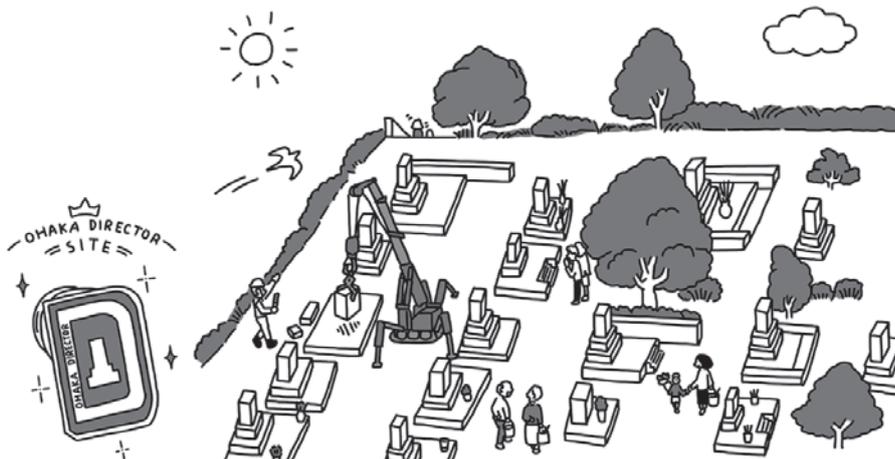
後は結果を待つのみですが、合否の告知は1月中旬頃に・・・ということは・・・あと2週間は熟睡出来ないという事ですね!(笑)

お墓と供養のプロフェッショナルになるにはまだまだ覚える事が沢山ですが、日々一つ一つの積み重ねが、お客様の「ありがとう」に繋がっていると思うと自然とやる気が出て来ますね。

では!! 今日もお客様の笑顔のため頑張ります!



気合を入れて勉強中・・・1級というプレッシャーが、私の肩に重くのしかかります。



第18回  
お墓ディレクター  
検定試験開催決定!

2022年11月22日(火)

東京・大阪・仙台

申請期間: 9/15(木)

~10/21(金)



さりげない思いやり

# 心がポツとあたたかくなりました



ショールーム課 西村 葉子

今回は、ちょっと心が温まる記事をご紹介します。

『半世紀以上も連れ添った妻に先立たれた、横浜市の知人男性からこんな話を聞いた。男性は葬儀を終えた後、故郷である佐賀県唐津市の寺に納骨するため、羽田空港から空路、九州へと向かった。

遺骨を機内に持ち込めることは知っていた。でも入れたバッグがかなり大きく、念のため搭乗手続きの際に中身を伝えた。機内に乗り込み、上の棚にバッグを入れて席に着くと、客室乗務員がやって来てこう言った。「隣の席を空けております。お連れ様はどちらですか？」

搭乗手続きで言ったことが機内に伝わっていたのだ。男性が「ああ、上の棚です」と説明すると、乗務員はバッグごと下ろしてシートベルトを締めてくれた。飛行中には「お連れ様の分です」と飲み物も出してくれたという。』



いかがでしょうか。心がポツとあたたまるような気がします。



お正月には年神様（ご先祖様）が各家を廻るとされています。その目印になるように家の前に飾られたのが門松だと言われています。

今の時代門松は無理だとしても、ご先祖様をお迎えしてゆっくりとお正月を迎えたいものです。

2022年

# ご縁をいただいた お客様のお墓をご紹介します！

ほんの一部ですが、2022年建立のお墓をご紹介します。皆様には大変喜んでいただき私たちの一番の励みにもなります。

本当にありがとうございました。



青森店 宮崎 陽



青森店 平田 響子



青森店 山内 一磨



弘前店 寺澤 綾子



弘前店 相内 翔太



弘前店 伊藤 杏美

今後とも末永いお付き合い、よろしくお願いいたします。



# 良きご縁をありがとうございます

青森市桜川	青森市筒井桜川	青森市小柳	上北郡六ヶ所村平沼	青森市岡造道	青森市浜田	青森市筒井	弘前市禰宜町	青森市大野	青森市南佃	黒石市袋井	青森市緑	黒石市松原	黒石市上十川	青森市筒井	青森市新田	弘前市大開	上北郡野辺地町前田	つがる市森田町上相野	黒石市八甲
三浦様	館山様	古村様	村松様	隅田様	金澤様	中澤様	石郷岡様	工藤様	蛭沢様	館山様	松橋様	今様	村上様	三上様	成田様	萩原様	飯田様	増田様	佐藤様
青森市南佃	南津軽郡藤崎町福島	青森市上野	青森市矢田前	弘前市旭ヶ丘	上北郡野辺地町	青森市花園	青森市原別	弘前市中別所	青森市新田	弘前市福田	八戸市下長	弘前市新岡	弘前市一町田	青森市蛭沢	青森市浪館前田	下北郡東通村砂子	青森市浪館前田	黒石市浦町	青森市新城
塩谷様	村田様	神様	小笠原様	百澤様	田嶋様	木村様	石川様	佐藤様	齋藤様	長尾様	成田様	五十嵐様	木村様	杉本様	成田様	小寺様	間山様	吉田様	柿崎様

※今月号で紹介しきれなかったお客様は、また次の機会に掲載いたします。



青森店



弘前店

Landwork 日本最大36店舗の  
ランドワークグループ 墓石専門店グループ

墓石と仏壇  
**やまと石材**

【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13  
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388

【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1  
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatosekizai.com

友達募集、今すぐ登録!



青森 やまと石材

検索

## 編集後記

「あっという間に2022年が過ぎ去り、新しい年が始まります!サッカーワールドカップの日本代表から、何事にも立ち向かう勇気をもらい、この2023年も頑張れそうです。」

(佐々木)